2018年度
第3四半期(2018年4月～12月)決算
（第3四半期決算補足説明資料）

2019年2月8日
株式会社キッツ
代表取締役社長　堀田　康之

【注意事項】
本資料に記載されている当社及び連結子会社の計画、戦略及び業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等は、さまざまな要因により、見通し等と異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。

©2018 KITZ CORPORATION All Rights Reserved

目　次

1 2018年度第3四半期決算の概要

2 2018年度通期見通し

3 最近のトピックス

©2018 KITZ CORPORATION All Rights Reserved

1 2018年度第3四半期決算の概要

2 2018年度通期見通し

3 最近のトピックス

©2018 KITZ CORPORATION All Rights Reserved

2018年度第3四半期　業績

単位(百万円)

		2017年度 3Q実績	2018年度 3Q計画	2018年度 3Q実績	対前年		対計画	
					増減額	増減率	増減額	増減率
売上高		91,667	99,710	103,207	11,540	12.6%	3,497	3.5%
	内、バルブ事業	72,229	79,204	82,746	10,516	14.6%	3,542	4.5%
	内、伸銅品事業	17,136	18,084	18,027	890	5.2%	▲56	▲0.3%
営業利益 (率)		7,250 (7.9%)	9,045 (9.1%)	9,545 (9.2%)	2,295	31.7%	500	5.5%
	内、バルブ事業	9,167	11,280	11,834	2,666	29.1%	554	4.9%
	内、伸銅品事業	559	264	238	▲320	▲57.3%	▲25	▲9.6%
経常利益		6,973	8,865	9,609	2,636	37.8%	744	8.4%
親会社株主に帰属する当期純利益		4,694	5,846	4,009	▲685	▲14.6%	▲1,836	▲31.4%
ドル:対円		111.80	110.00	109.64				
ユーロ:対円		125.20	130.00	130.61				
電気銅建値:円／トン		743,000	760,000	753,000				

注) 売上高及び営業利益は、バルブ事業と伸銅品事業のみを表示しておりますが、合計はその他を含む連結合計であるため、一致しておりません。

©2018 KITZ CORPORATION All Rights Reserved

バルブ事業　国内売上高（市場別）

前年同期比52億23百万円（11.0%）増の526億81百万円。建築設備向けは首都圏再開発案件向けの納入が高水準を維持。新価格も着実に浸透。水市場向けは東京都向けが回復せず、低迷。半導体製造装置向けは、半導体市況変動の影響を受け、受注が減速。工業用バルブ市場は、化学、食品、薬品等幅広い業種で、生産能力増強など、設備投資が活発な状況が続いている。

単位(億円)

	2017年度 3Q	1Q	2Q	3Q	2018年度 3Q	対前年 増減額	対前年 増減率
国内　合計	474	168	175	183	526	52	11%
建築設備	204	73	73	75	222	18	9%
水関連	60	15	20	24	59	▲1	▲2%
半導体関連	57	23	23	24	69	12	21%
機械装置関連	151	18	18	20	56	25	17%
石油精製・石油化学		17	17	17	51		
一般化学		7	7	7	21		
食品・製紙		6	6	6	17		
ガス・電力		6	6	6	18		
大型プロジェクト物件		3	6	4	13		

注）1　各市場で採用されるバルブの材質、形状の変化やトレンドを考慮し、2018年度より各市場に集計する製品群の一部を見直ししております。
そのため、2017年度の「機械装置関連」から「大型プロジェクト物件」までの各市場向けの売上高については、合計額で表示しております。

注）2　億円単位で表示しているため、累計・合計が一致しない場合があります。

©2018 KITZ CORPORATION All Rights Reserved

バルブ事業　海外売上高（エリア別）

前年同期比52億93百万円（21.4%）増の300億64百万円。半導体製造装置向けは、投資延期が相次ぎ、特に韓国向けが減速。中国はデータセンター向けの汎用バルブが引き続き堅調。アセアン・韓国他は、韓国Cephasの新規連結により、増収。中東は、イラン向け大型プロジェクトBid Bolandの追加受注分を納入。米州・欧州は、原油価格下落の影響は懸念されるものの、足元では代理店からの在庫発注が堅調。特に欧州は、代理店の在庫調整が終わり、まとまった受注が入り始めた。
※海外売上高のうち、為替による減少額（前年同期比）　:　207百万円

単位(億円)

	2017年度 3Q	1Q	2Q	3Q	2018年度 3Q	対前年 増減額	対前年 増減率
海外　合計	247	90	106	105	301	53	22%
アセアン・韓国他	94	33	31	34	98	4	4%
（内、半導体向け）	(18)	(9)	(5)	(3)	(17)	(▲1)	▲6%
中国	47	15	21	23	60	13	28%
（内、半導体向け）	(14)	(6)	(7)	(6)	(19)	(5)	36%
中東	9	5	18	12	34	25	277%
アジア計	150	53	69	69	191	41	27%
米州（北米、中南米）	74	28	27	28	83	9	12%
欧州・その他	23	9	10	7	27	4	12%

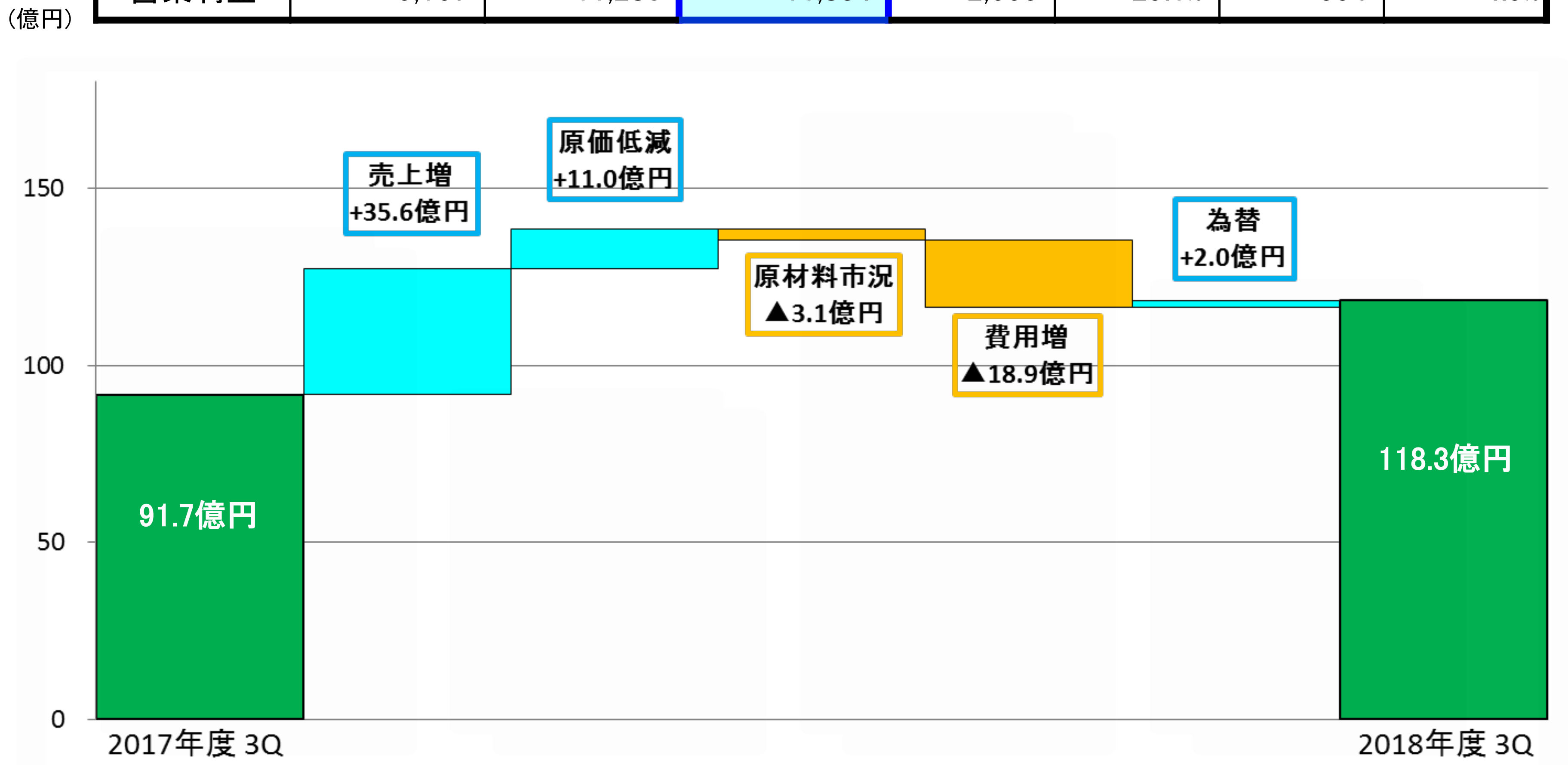
注）億円単位で表示しているため、累計・合計が一致しない場合があります。

©2018 KITZ CORPORATION All Rights Reserved

バルブ事業　営業利益増減要因

単位(百万円)

	2017年度 3Q実績	2018年度 3Q計画	2018年度 3Q実績	対前年		対計画	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	72,229	79,204	82,746	10,516	14.6%	3,542	4.5%
営業利益	9,167	11,280	11,834	2,666	29.1%	554	4.9%



©2018 KITZ CORPORATION All Rights Reserved

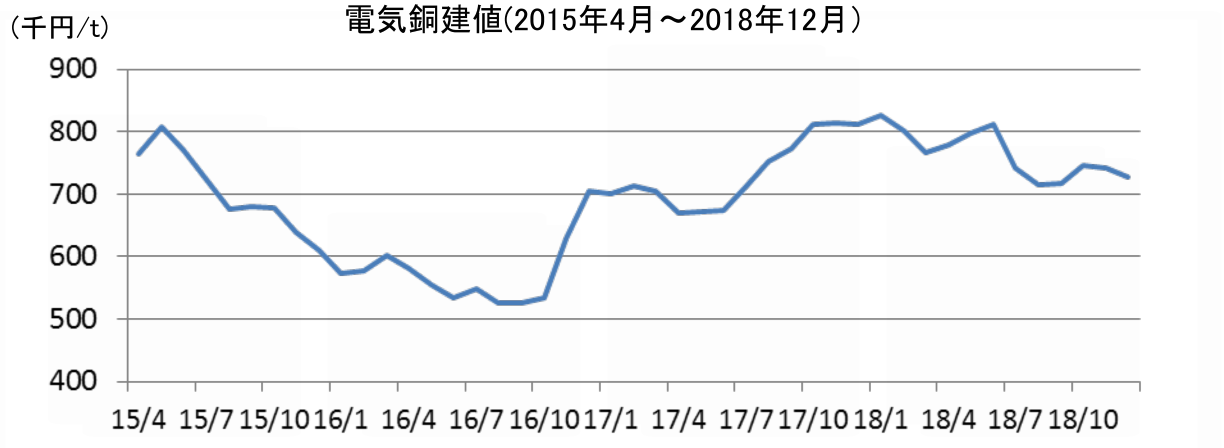
伸銅品事業の概要

■売上高について
売価に影響を与える銅相場は、2018年6月まで上昇したが、7月から下落に転じている。売上高は、前年同期比8億90百万円（5.2%）増の180億27百万円。

■営業利益について
原材料相場変動の影響を受け、営業利益は前年同期比3億20百万円（57.3%）減の2億38百万円。

単位(百万円)

	2017年度 3Q実績	2018年度 3Q計画	2018年度 3Q実績	対前年		対計画	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	17,136	18,084	18,027	890	5.2%	▲56	▲0.3%
営業利益	559	264	238	▲320	▲57.3%	▲25	▲9.6%
電気銅建値：円／トン	743,000	760,000	753,000				



黄銅棒とその加工品

©2018 KITZ CORPORATION All Rights Reserved

その他の概要

■売上高について

売上高は、国内の団体宿泊客の増加等により、前年同期比1億32百万円(5.8%)増の24億33百万円。

■営業利益について

営業利益は、増収効果及びコスト削減に努めた結果、前年同期比1億11百万円(310.9%)増の1億47百万円。

単位(百万円)

	2017年度 3Q実績	2018年度 3Q計画	2018年度 3Q実績	対前年		対計画	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	2,301	2,422	2,433	132	5.8%	11	0.5%
営業利益	35	129	147	111	310.9%	18	14.4%

長野県諏訪市のホテル紅や

©2018 KITZ CORPORATION All Rights Reserved

連結営業外・特別損益の状況

単位(百万円)

	2017年度 3Q実績	2018年度 3Q実績	増減額	主な増減内訳
営業利益	7,250	9,545	2,295	
■営業外収益	486	681	194	為替差益 69
■営業外費用	763	616	▲146	為替差損 ▲162
経常利益	6,973	9,609	2,636	
■特別利益	875	7	▲867	投資有価証券売却益 ▲869
■特別損失	454	2,579	2,124	Cephas減損損失 2,485
税金等調整前当期純利益	7,393	7,038	▲355	
法人税等	2,621	2,939	317	
当期純利益	4,771	4,098	▲673	
非支配株主に帰属する当期純利益	77	89	12	
親会社株主に帰属する当期純利益	4,694	4,009	▲685	

©2018 KITZ CORPORATION All Rights Reserved

Cephas Pipelines Corp. 減損損失について

買収の概要

2018年4月、工業用バタフライバルブの需要が拡大する中、ラインナップ拡充を目的として、韓国の工業用バタフライバルブメーカー Cephas Pipelines Corp.（以下、Cephas）を買収。買収金額：37億52百万円（374億15百万韓国ウォン）

減損の背景

＜事業環境及び経営状況＞

韓国経済は、2018年後半に急激に減速。Cephasの売上の7割以上を占めていた韓国EPCの需要が大幅に減少。

2018年度(4-12月）のCephas業績は、大幅な売上減少により粗利益が減少した他、生産の遅延も発生し、原価率が急激に悪化した結果、営業赤字となった。2019年度計画は、営業利益は黒字化する見通しだが、のれん償却後では引き続き赤字の見込み。

＜減損損失＞

（百万円）

のれん（2018年12月末時点の未償却残高）	2,397
無形固定資産	88
合計	2,485

Cephas製品

今後の施策

厳しい状況ではあるが、販売面ではキッツグループの販売網を生かして国内・海外市場での売上増を図るとともに、需要が見込まれる船舶用バルブの販売に注力する。また、生産面では、キッツグループのノウハウを活用し、生産効率の向上を図る。

©2018 KITZ CORPORATION All Rights Reserved

バランスシートの状況

Cephas買収により、たな卸資産、有形固定資産が増加した他、基幹システム投資により無形固定資産も増加したものの自己株式の取得等による現金及び預金の減少や、投資有価証券の減少により、資産合計は減少。

■流動資産：現金及び預金の減少　▲95億39百万円　　たな卸資産の増加　29億40百万円
■固定資産：有形固定資産の増加　25億91百万円　無形固定資産の増加　6億43百万円
■有利子負債残高は、339億7百万円（純有利子負債　200億17百万円）、自己資本比率57.1%（18/3末　57.1%）

単位(百万円)

資産の部	2018年3月末	2018年12月末	増減額	負債の部	2018年3月末	2018年12月末	増減額
流動資産	77,400	72,513	▲4,886	流動負債	24,078	24,025	▲52
固定資産	56,145	58,356	2,211	固定負債	32,075	30,908	▲1,167
有形固定資産	36,799	39,390	2,591	負債合計	56,154	54,934	▲1,220
無形固定資産	8,951	9,594	643				
投資等	10,394	9,371	▲1,022	純資産合計	77,391	75,936	▲1,454
資産合計	133,545	130,870	▲2,674	負債・純資産合計	133,545	130,870	▲2,674

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号　平成30年2月16日）等を今期より適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産に、繰延税金負債は固定負債に表示しております。2018年3月末の表示についても新たな表示方法に従って組み替えております。

©2018 KITZ CORPORATION All Rights Reserved

キャッシュ・フローの状況

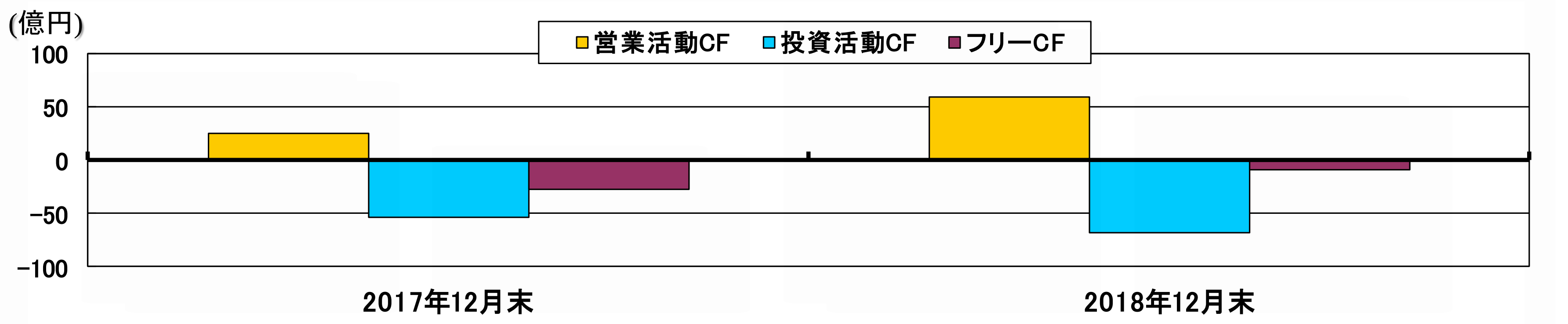
■営業活動CF：　税金等調整前四半期純利益70億38百万円、減価償却費34億1百万円、のれん等の減損損失25億11百万円。たな卸資産の増加27億41百万円や法人税等の支払額44億38百万円はあったが、58億50百万円の資金の増加。

■投資活動CF：　有形固定資産の取得による支出51億82百万円、IT関連など無形固定資産の取得20億32百万円、子会社株式の取得29億85百万円等により、67億85百万円の資金の減少。

■財務活動CF：　有利子負債の減少43億25百万円、配当金の支払17億42百万円、自己株式の取得19億50百万円等により、82億18百万円の資金の減少。

単位（百万円）

	2017年12月末	2018年12月末	増減額	増減率
営業活動CF	2,513	5,850	3,337	132.7%
投資活動CF	▲5,319	▲6,785	▲1,465	−
フリーCF	▲2,806	▲934	1,871	−
財務活動CF	▲2,602	▲8,218	▲5,616	−
現金等期末残高	11,475	12,839	1,364	11.9%



©2018 KITZ CORPORATION All Rights Reserved

2018年度第3四半期の主な経営指標

単位（百万円）

	連結	
	2017年度 3Q実績	2018年度 3Q実績
売上高	91,667	103,207
営業利益	7,250	9,545
経常利益	6,973	9,609
親会社株主に帰属する当期純利益	4,694	4,009
海外売上高比率	27.7%	29.7%
有利子負債	25,049	33,907
自己資本比率	62.0%	57.1%
BPS	769.45円	783.68円
EPS	46.91円	41.58円

©2017 KITZ CORPORATION All Rights Reserved

1 2018年度第3四半期決算の概要

2 2018年度通期見通し

3 最近のトピックス

©2018 KITZ CORPORATION All Rights Reserved

2018年度 通期見通し

単位（百万円）

	2017年度			2018年度					<ご参考>
	1Q～2Q 上期実績	3Q～4Q 下期実績	通期 実績	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 見通し	通期見通し 1/31修正	当初計画 （5/8発表）
売上高	59,592	64,974	124,566	32,752	35,028	35,426	32,792	136,000	132,000
営業利益 （率）	4,314	5,802	10,117 （8.1%）	2,647	3,166	3,732	2,154	11,700 （8.6%）	11,200
経常利益 （率）	4,057	5,675	9,733 （7.9%）	2,530	3,258	3,820	1,990	11,600 （8.5%）	10,900
親会社株主に 帰属する 当期純利益（率）	2,641	3,876	6,518 （5.3%）	1,712	2,214	82	1,290	5,300 （3.9%）	7,100
ROE	－		8.7%		－			7.0%	
EPS	－		65.50円		－			55.12円	
ドル：対円	112.12		112.04		108.52			109.50	
ユーロ：対円	122.18		127.09		130.66			128.00	
電気銅建値：円／トン	709,000		757,000		760,000			745,000	

©2018 KITZ CORPORATION All Rights Reserved

セグメント別　2018年度 通期見通し

単位（百万円）

売上高	2017年度			2018年度					＜ご参考＞
	1Q～2Q 上期実績	3Q～4Q 下期実績	通期 実績	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 見通し	通期見通し 1/31修正	修正前見通し （10/31発表）
バルブ事業	46,951	51,211	98,162	25,775	28,068	28,902	26,853	109,600	105,000
伸銅品事業	11,046	12,489	23,535	6,290	5,947	5,789	5,372	23,400	24,000
その他	1,594	1,271	2,867	686	1,012	734	566	3,000	3,000
計	59,592	64,974	124,566	32,752	35,028	35,426	32,792	136,000	132,000

営業利益	2017年度			2018年度					＜ご参考＞
	1Q～2Q 上期実績	3Q～4Q 下期実績	通期 実績	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 見通し	通期見通し 1/31修正	修正前見通し （10/31発表）
バルブ事業	5,606	7,191	12,798	3,443	3,863	4,528	3,165	15,000	14,300
伸銅品事業	342	356	699	127	63	46	61	300	400
その他	56	▲84	▲28	▲18	138	27	▲97	50	50
調整額	▲1,690	▲1,661	▲3,351	▲905	▲899	▲871	▲974	▲3,650	▲3,550
計	4,314	5,802	10,117	2,647	3,166	3,731	2,154	11,700	11,200

©2018 KITZ CORPORATION All Rights Reserved

2018年度の主な経営指標

単位（百万円）

	連結	
	2017年度 実績	2018年度 見通し
売上高	124,566	136,000
営業利益	10,117	11,700
経常利益	9,733	11,600
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,518	5,300
海外売上高比率	27.9%	30.0%
有利子負債	34,302	33,750
ROE	8.7%	7.0%
自己資本比率	57.1%	57.5%
BPS	782.98円	807.20円
EPS	65.50円	55.12円

©2018 KITZ CORPORATION All Rights Reserved

1 2018年度第3四半期決算の概要

2 2018年度通期見通し

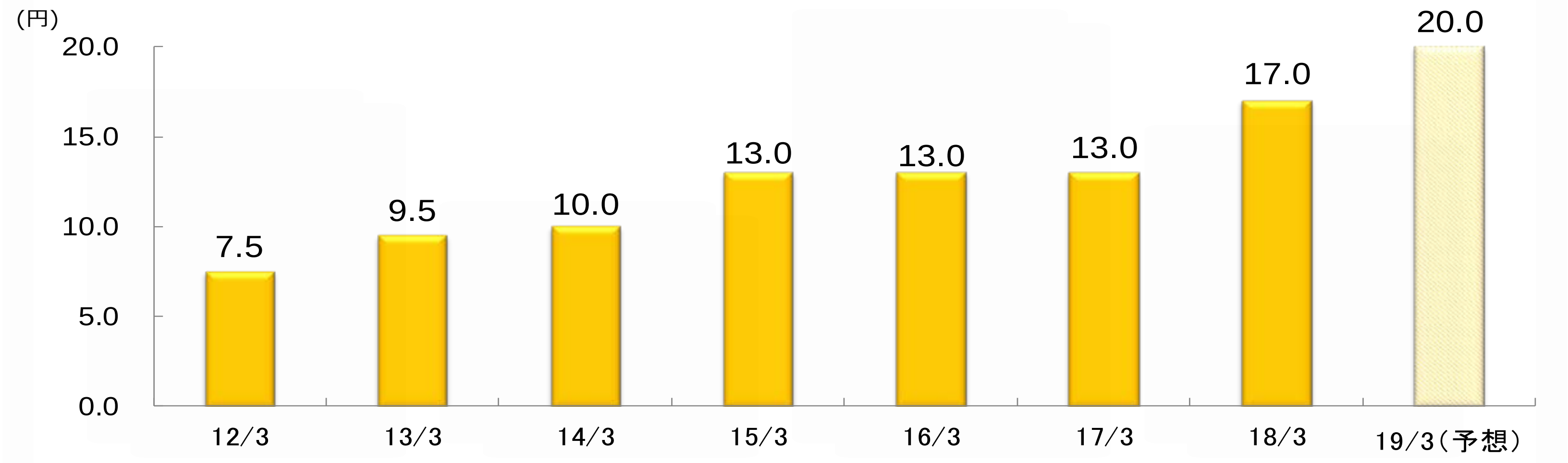
3 最近のトピックス

©2018 KITZ CORPORATION All Rights Reserved

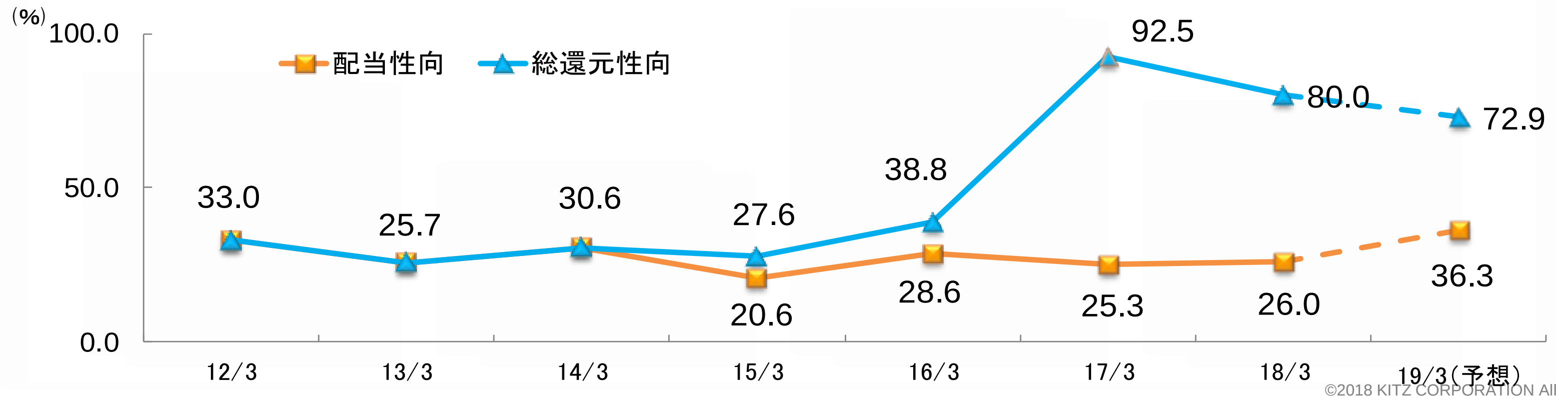
株主還元方針

配当性向は、親会社株主に帰属する当期純利益の25%前後を望ましい水準と考えている。2018年度は、Cephas社ののれん等減損損失を除いた親会社に帰属する当期純利益に基づき算定することとし、当初公表の19円に1円を加算し、上場以来最高となる年間配当金20円を見込む。

＜年間配当金推移＞



＜配当性向、総還元性向推移＞



©2018 KITZ CORPORATION All Rights Reserved

キッツマイクロフィルター
キッツ茅野工場敷地内に新工場を建設

キッツマイクロフィルター（以下、KMF）は、キッツ茅野工場の敷地内に新工場を建設することを決定した。

「ポリフィックス」の成長と新たな市場開拓

KMFは、家庭用浄水器から工業用フィルターまで、幅広い分野に中空糸膜を使用した各種ろ過用機器を製造・販売している。主力製品である工業用フィルター「ポリフィックス」は、近年売上を伸ばしており、特に半導体向けは、更なる需要の拡大が期待できる。また、医療・ヘルスケア関連分野向けフィルターを今後の重点市場と定め、商品開発及び市場開拓を進めている。

旺盛な需要に対応するため、「ポリフィックス」の増産対応をしているが、現有設備能力では限界となってきており、また医療分野向けの生産環境として、クリーンルームの新設が必要な状況。これらの課題を解決するために、キッツ茅野工場敷地内に新工場を建設することを決定。生産ラインの専用化・整流化を行うと同時に、生産能力を大幅に向上させる。

新工場の概要	
所在地	長野県茅野市金沢5125（キッツ茅野工場　敷地内）
生産品目	浄水器・工業用フィルター・半導体用フィルター
着工 ／ 稼働開始時期（予定）	2018年12月／2019年9月
総投資額	約13億円

新工場完成イメージ図

©2018 KITZ CORPORATION All Rights Reserved

アジア汎用弁戦略室新設
ベトナム現地法人設立

アジア汎用弁戦略室を新設

4月1日付で、役員直轄組織として、アジア汎用弁戦略室を新設することを決定。

キッツグループは、アセアン地域のハイエンド（高価格・高品質）市場においては比較的高いシェアを持っているが、ミドルエンド（中価格）市場には本格的に参入できていない。最もボリュームがあり、また近い将来ハイエンド市場を脅かすことになるであろうミドルエンド市場にスピードを持って参入し、シェアを獲得することを目的として、専任の組織を新設する。

ベトナム現地法人の設立

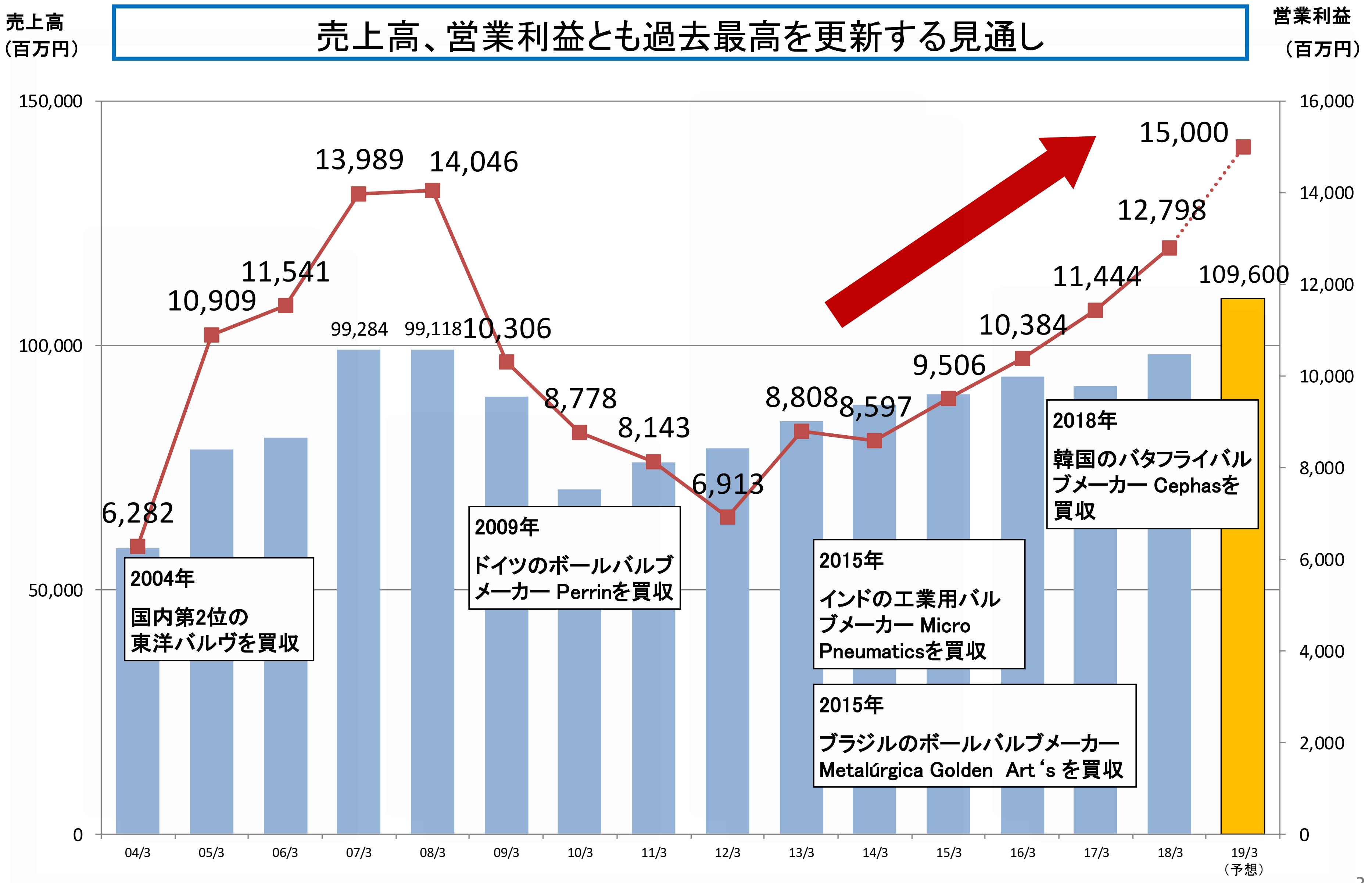
2018年12月、2016年6月にベトナムに設立したKITZ Corporation of Asia Pacific Pte. Ltd.（以下、KAP）の駐在員事務所を現地法人化した。

KITZ Valve & Actuation Vietnam Co., Ltd.	
所在地	ベトナム　ホーチミン市
設立/営業開始	2018年12月/2019年1月
事業内容	各種バルブの仕入・販売・メンテナンス

©2018 KITZ CORPORATION All Rights Reserved

バルブ事業　売上高・営業利益の推移（2004年3月期～2019年3月期）

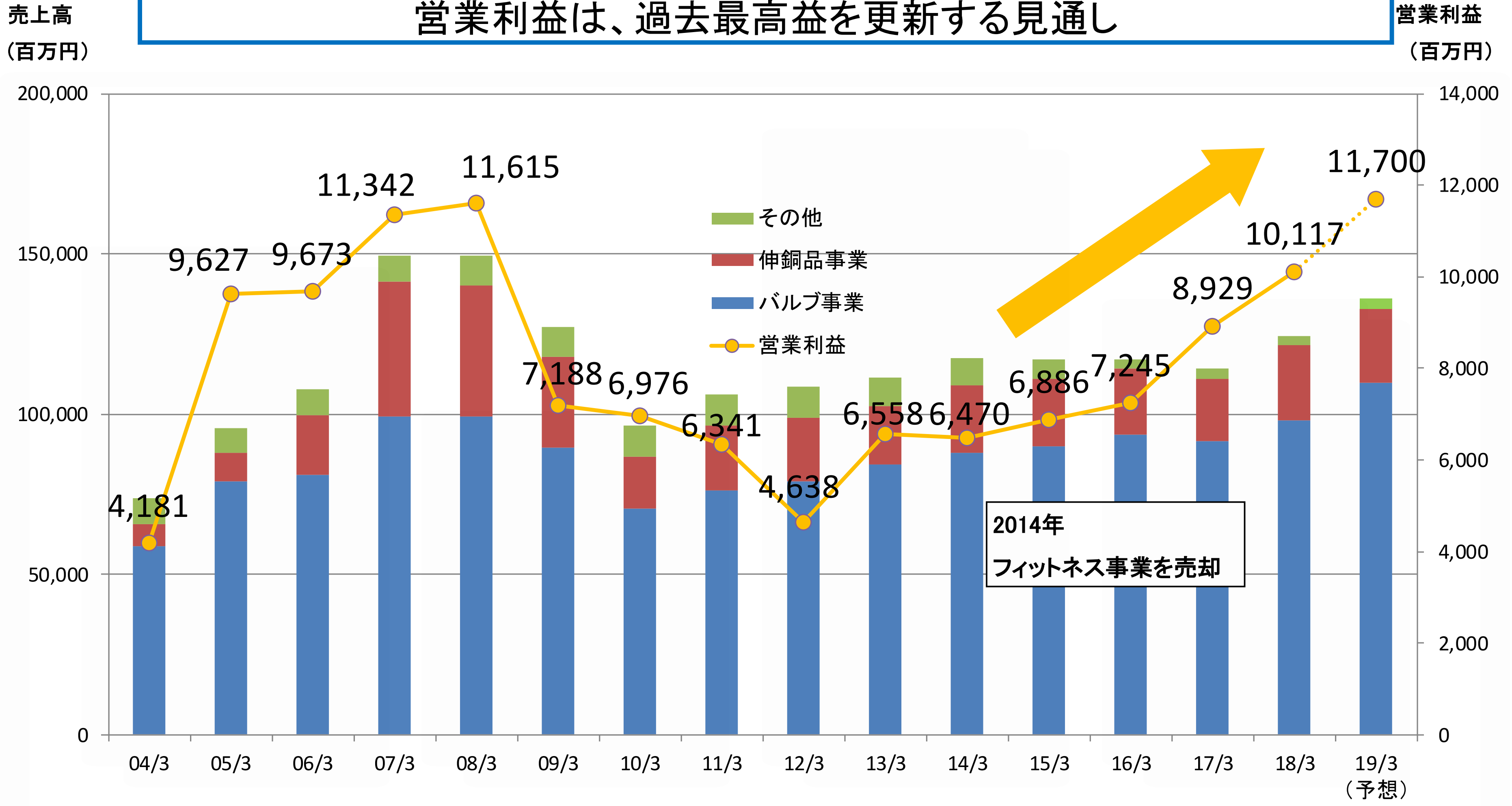
売上高、営業利益とも過去最高を更新する見通し



©2018 KITZ CORPORATION All Rights Reserved

連結　売上高・営業利益の推移（2004年3月期～2019年3月期）

営業利益は、過去最高益を更新する見通し



電気銅建値推移（千円/トン）

270	371	517	867	916	648	620	738	717	696	750	766	675	604	757	745

©2018 KITZ CORPORATION All Rights Reserved

大規模設備投資の状況

新基幹業務システム　稼働時期の延期を決定

2015年から開発を進めてきたグローバル基幹システムの構築・導入プロジェクト「KITZ Innovation Global System（略称：KInGS）」は、2019年1月稼働開始に向け準備を進めてきたが、稼働開始後のリスクを再検討した結果、2018年度通期決算を確実に行うことを最優先とし、5月稼働開始に延期することを決定。システム開発はほぼ完了しており、今後はスムーズな運用開始に向け、万全の体制を整えていく。

総投資額：約70億円

伸銅品事業　工事の進捗は計画通り

キッツメタルワークスの老朽化設備の更新投資については、ほぼ計画通りの進捗状況。新工場建屋は、1月末に完成済。鋳造設備は、3月末完成予定。製棒設備（押出し機）は、6月までに据付・試運転を完了し、7月より新設備による量産を開始する予定。

総投資額：約53億円

©2018 KITZ CORPORATION All Rights Reserved

ご清聴ありがとうございました。